

佐賀北部地区農福連携推進 ネットワークの取り組み

2025年3月6日

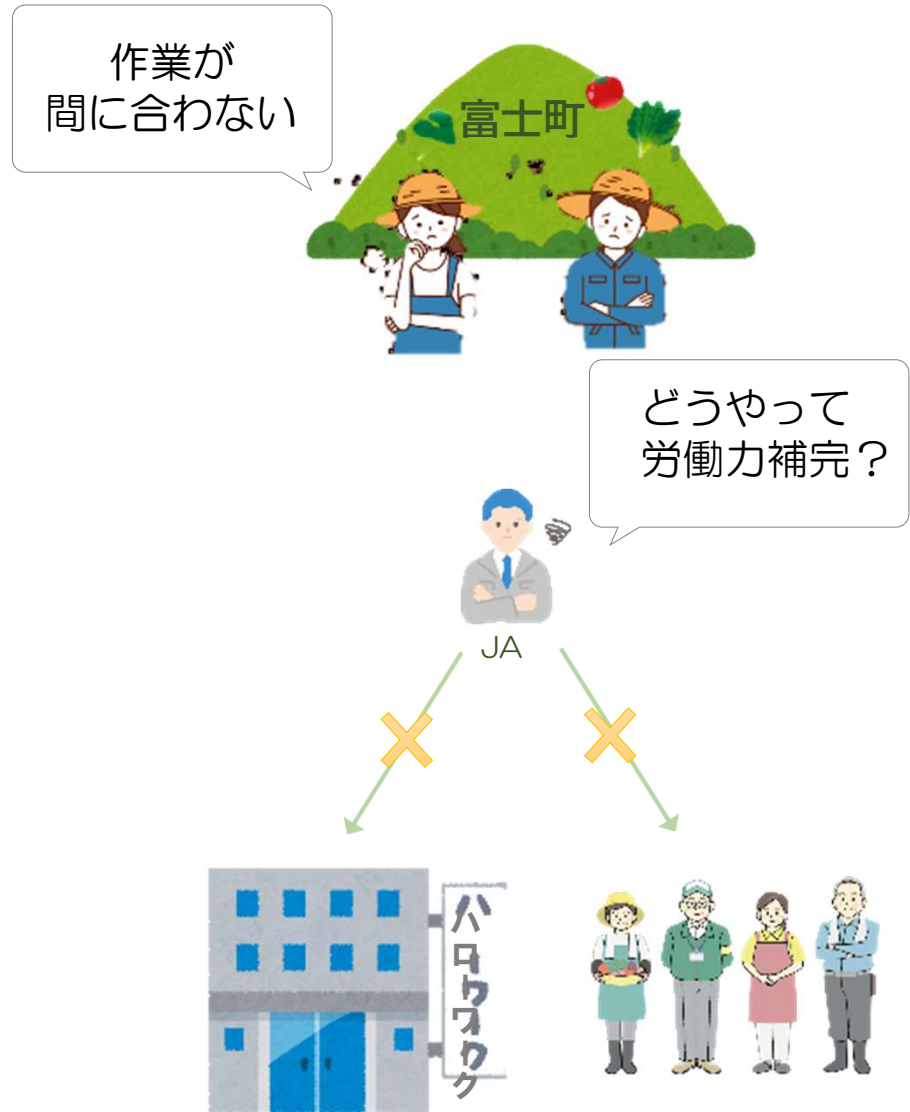
佐賀県
農福連携コーディネーター
藤戸 小百合



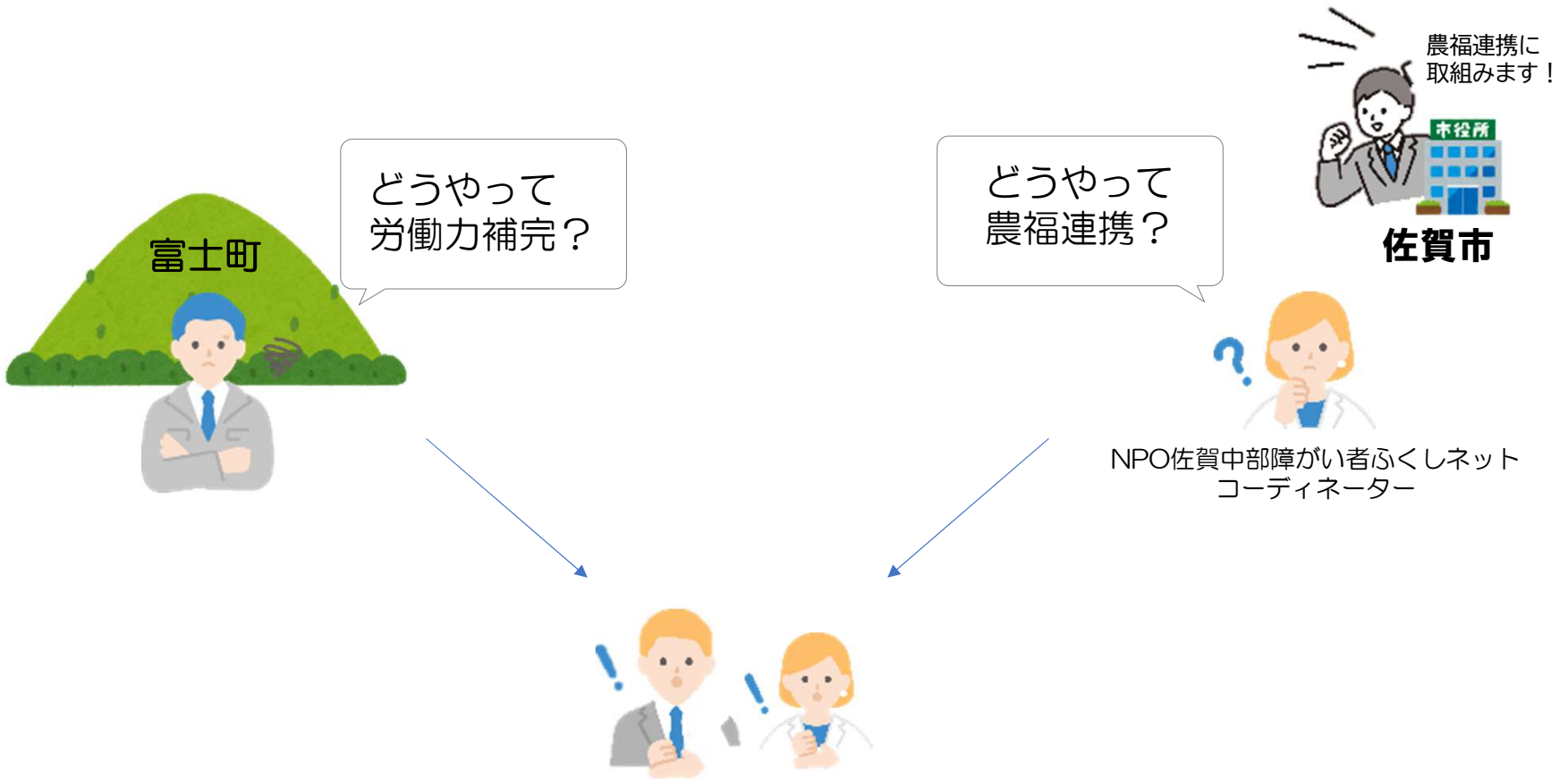
背景

課題

- 1 高齢化
- 2 後継者不足
- 3 佐賀市内から1時間
- 4 週に数回の短時間労働



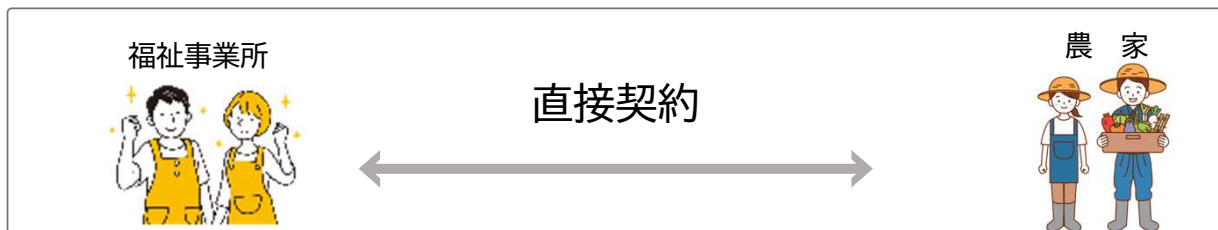
背景



体制

佐賀北部地区農福連携推進ネットワーク

佐賀県農林水産部農業経営課（実働部隊）
佐賀中部農林事務所佐城農業振興センター普及課
佐賀県障害福祉課就労支援室（オブザーバー）
佐賀市農林水産部農業振興課、農村環境課
佐賀市保健福祉部障がい福祉課、佐賀市富士支所、佐賀市三瀬支所
佐賀県農業協同組合県域担い手サポートセンター、神埼営農経済センター北部事業所
NPO佐賀中部障がい者ふくしネット（事務局、実働部隊）
佐賀中部農林事務所佐城農業振興センター北部振興課（事務局、実働部隊）
佐賀県農業協同組合中部地区営農経済センター富士町事業所（事務局、実働部隊）



作業希望把握・作業依頼
契約後の相談対応

労働力不足農家の把握・契約
後の相談対応



佐賀北部地区農福連携 ネットワーク年間活動



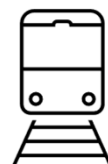
会議(計画)

5月～6月年間計画等および異動による新担当の紹介



研修会の開催

中間支援者育成研修など
今年度は農家と福祉事業所も含め、講義およびワークショップ予定



現地視察研修

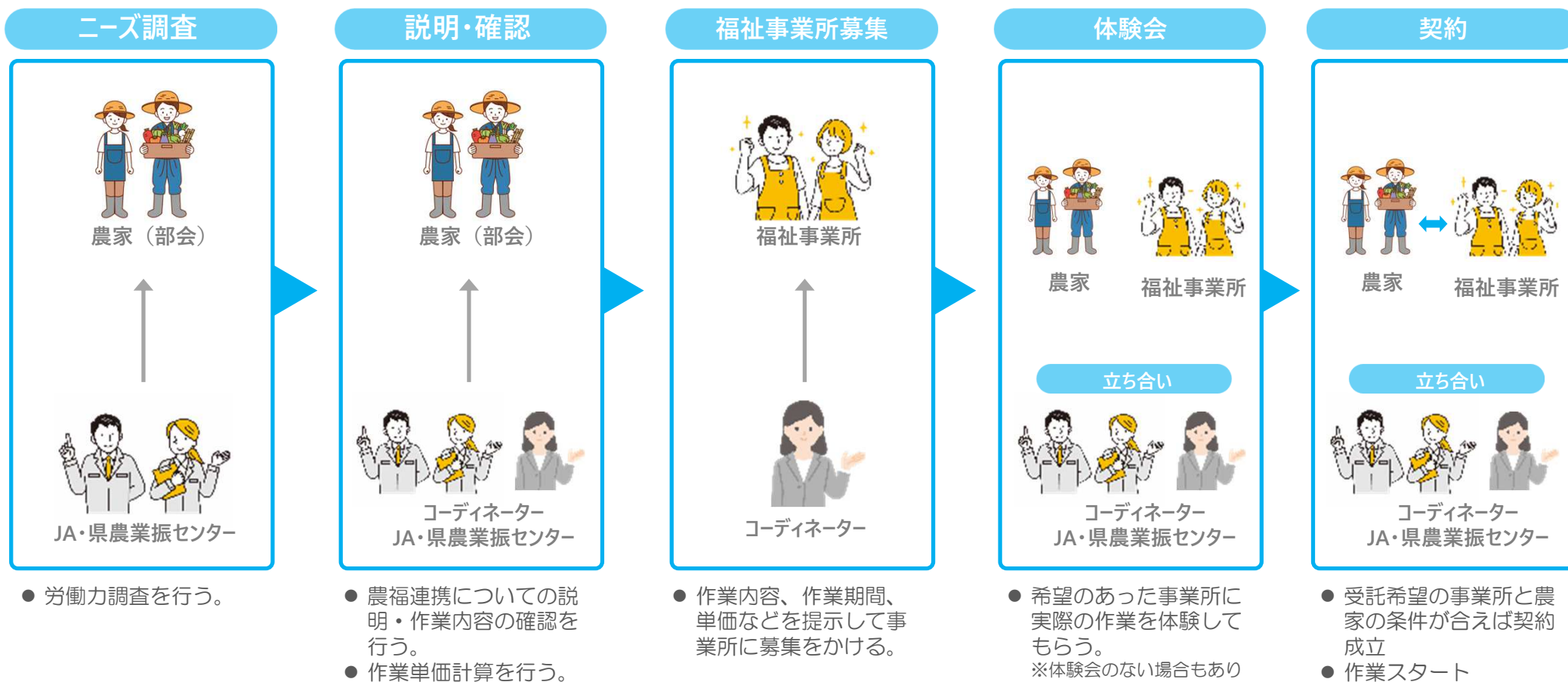
先進地視察研修
R5 三重県
R6 大隅半島ノウフクコンソーシアム
R7 石川県(予定)



会議(報告)

2月活動報告および次年度活動計画

協議会実働部隊における マッチングの流れ



農福連携受委託 マニュアル作成



担当者の異動や退職があっても、持
続可能な農福連携を目指し体系化




農業 | Agriculture

農福連携マッチングの際の基礎知識


農家の方の多くは障がい者に対する雇用経験がありません

農家の多くは知人・親戚の紹介などによるパート・アルバイト雇用をされており、障がい者を雇用した経験がなく、作業の指導も不慣れな方が多いです。このため雇農業振興センターやJAの方のサポートが必要です。




農家の方の多くは契約書作成の経験がありません

一般的に、契約書は雇用側が作成しますが、雇用経験が少ない農家では契約書の作成は困難です。また、障がい者就労施設の施設外就労に対応した請負契約書の作成はさらに難しいと思われるので、中間支援者が農家と事業所、双方で合議をし、納得された契約書を作成することが望ましいです。



施設外就労の場所によっては休憩場所やトイレがありません

昼食時に障がい者就労施設まで戻れない場合が多いため、農家が休憩場所やトイレを整える必要があります。これらのことを事前に中間支援者から農家に伝え、トイレの確保が難しい場合は、コンビニや公共施設など近くのトイレの場所を確認してください。



9

佐賀県で発足している協議会

2017年



佐賀北部地区
農福連携推進
ネットワーク

2022年



佐城農福連携
連絡協議会

2023年



唐津農福連携
推進協議会